

ご法事は何のため？

… 安心をいただく！

ご法事の際は、先立たれた懐かしい方をご縁として、ご家族やご親戚、近隣の方々やご友人が集められます。

先立たれた方を偲ぶ中で、私たちも終わりある人生を生きていることを知らされます。同時に、「南無阿弥陀仏」のお心をお聞かせていただく中で、仏さまとなられた亡き方々も、阿弥陀さまと同じようにして、私たちを救い取ろうとはたらいていらっしゃることに気づかされます。

阿弥陀さまの限りないお徳を讃えるとともに、有縁の方々「南無阿弥陀仏」のお心をお聞かせいただき、安心をいただくことが、ご法事の大切な意味なのであります！



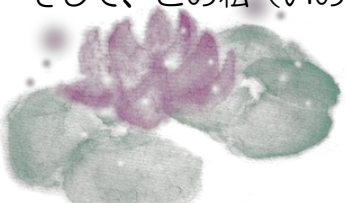
～ご命日は、亡くなられた日ではなく、 仏さまにお生まれになられた誕生日！～

お念仏（南無阿弥陀仏）をいただく人は、この世の縁の尽きるとき、お浄土へ生まれた仏さまとならせていただきます。ご命日は、亡き人がお浄土に生まれた日、仏さまとなられた誕生日なのです。

亡き方々は、消えてなくなる“いのち”ではない、“限りある いのち”の私から、“限りのない いのち”の仏さまへと、阿弥陀さまが抱きとってくださいました。

そして、この私（いのち）を導いてくださいます。

… また見える世界へ



ご法事をおして、いのちのよりどころをいただく



しんきょうじくらぶ 真教寺倶楽部

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

千部山 真教寺

〒 811-1222 住職 井上 浄英
092-9522-829 那珂川市下梶原2-8-1

第15号
令和2年1月

2020年 年回表

回忌	年
1周忌	2019(令和元)年
3回忌	2018(平成30)年
7回忌	2014(平成26)年
13回忌	2008(平成20)年
17回忌	2004(平成16)年
25回忌	1996(平成8)年
33回忌	1988(平成63)年
50回忌	1971(昭和46)年

仏事のあれこれ

- 祥月命日…命日におつとめします
- 月忌 …月の命日におつとめします
- 年忌 …1周忌、3回忌など定められた年の祥月命日などにおつとめします(上記の表を参照)
- 入仏法要…新たにご本尊(仏壇)をお迎えするときにおつとめします

このほか、人生の節目にお寺やご家庭で仏事を営むこともできますので、お気軽にお寺に相談してください。

お寺ステーション

～真教寺女性の会～

今回は、「真教寺・女性の会」をご紹介します。

発会して13年目を迎えます。偶数月の1日(基本として)に、親鸞聖人の「お正信偈」を学び、日頃思う仏事の疑問などについて語り合っています。

また、不定期ですが、日帰り旅行や食事会なども行っています。女性ならば何方でも参加できます。続けての参加でも、単発での参加でも大丈夫です。いつでも気軽に参加できる会であります。(案内状は本堂に置いています。)

昨今お寺の存在意義が問われる中、真教寺が地域に「開かれたお寺」として、この会が皆さまにとっての“よりどころ”の場になればと思います。

どうぞ、皆さまのご参加をお待ちしております。



正信偈のお勉強会
時にはDVDを鑑賞しながら

「まんまん茶房」

2020年、東京オリンピックが開催されます。開催前にゴタゴタがありながらも、感動の1シーンいただくことでしょうか。私が楽しみにしている競技に野球があります。サムライジャパンの活躍が楽しみです。

さて、私事で失礼しますが、小6の長男が少年野球チーム「那珂川マリナーズ」にお世話になっていました。息子はチームのキャプテン、坊守はスコア係、私は父母会の会長をしています。野球に追われる日暮しも、もうすぐ卒業です。(中学校でも野球をするそうですが…) 1年生から始めた野球で、息子も私たちも様々なことを学んでいます。あるスポーツ指導者が、子どもたちへの指導への心構えとして、「子どもは、聞いて忘れる、見て覚える、やって身に付く」と仰っています。これは、子どもは、何度言ってもなかなか理解できない。それよりも見せて覚えさせる。指導者が実際にプレーを見せて、それを見てマネをして覚える。「まなぶ(学ぶ)はまねる(真似る)」という言葉もあります。そして、自らやって身に付けるのです。そのようにして、技術面を研鑽しています。

でも、技術面よりも大切にしていることがあります。それは、野球(スポーツ)を通じて、子どもの健全育成をはかることです。チームで大切にしている事の一つに、「あいさつ」があります。これも、子どもに言うて覚えさせるよりも、大人同士がしっかり「あいさつ」をしている姿を見せることが大事であります。人としての成長を学ぶ場が、グラウンドにあります。

さて、仏さまに手を合わせるということが、なかなか次の世代に伝えることが難しい時代です。しかし、私たちが仏縁を大切にすることが、あればこそ、必ずその姿を見られていきます。そして、まね(真似)をされ覚えていけるでしょう。

仏さまに出会える場合は、日暮しの中にあります。どうぞお仏壇に手を合わせ、「ナムアマミダブツ」とお念仏申しましょう！

(住職)

